

セーフティレポート 2014



©Disney

株式会社舞浜リゾートライン

セーフティレポート2014 (2013年4月～2014年3月までの取組み)

目次

1. ディズニーリゾートラインをご利用の皆さまへ
2. 安全方針と安全目標
3. 「輸送の安全」を推進する社内の体制
4. 「輸送の安全」への取組み
5. 鉄道運転事故の発生状況
6. ゲストの皆さまへ

1. ディズニーリゾートラインをご利用の皆さまへ

日頃からディズニーリゾートラインをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社は、東京ディズニーリゾートにお越しいただいたゲストの皆さまが、リゾートを訪れた最初の瞬間から笑顔になっていただき、リゾートを離れる最後まで夢を見つづけていただけるように、最高のハピネスをお届けすることを目指しております。お蔭さまで、2013年度は2000万人を超える多くの方にご乗車いただくことができました。キャストやリゾートライナーとのふれあいを通じて、ディズニーリゾートラインの魅力を感じていただけたのではないかと考えております。これは言うまでもなく、安全が高いレベルで維持できてはじめて実現できるものです。鉄道事業者として輸送の安全は生命であり、東京ディズニーリゾートの一員として安全を最優先することは経営の哲学です。このような企業文化のもと、さらに安全を高めるための取り組みをこのセーフティレポートでご紹介しています。

今後はさらに輸送の安全性を高めるべく、リスクアセスメントを実施してリスクの予防と対応の実効性を高めること、経営者や管理職が日常的に現場を確認した結果を体系的に施策に反映させることなどを計画しています。

これからも、すべての皆さまに安心してご利用いただける、そして、笑顔になっていただけるリゾートラインをつくってまいりますので、引き続きご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

この「セーフティレポート2014」は、鉄道事業法第19条の4にもとづく安全報告書として、2013年度における当社の安全に対する取り組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために作成、公表いたしました。

ぜひお読みいただき、皆さまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
塚本浩一

©Disney

2. 安全方針と安全目標

2.1 安全基本方針

「輸送の安全」に関する基本的な考え方を3項目の安全基本方針として定めました。この安全基本方針は全職場に掲出され、安全を最優先する安全意識の徹底を図るとともに、ゲストの皆さまへ安全・快適なサービスが提供できるよう、東京ディズニーリゾート全体とも連携を図っています。

【安全基本方針】

1. 法令・規則を守り、安全を最優先にゲストをおもてなしします。
2. 安全に対し、常に当事者意識を持って主体的に行動します。
3. 情報を迅速、正確に共有し、一致協力して安全への対応能力を高めます。

2.2 安全目標

社長以下全キャストが一丸となり、安全管理体制の強化を行うとともに、

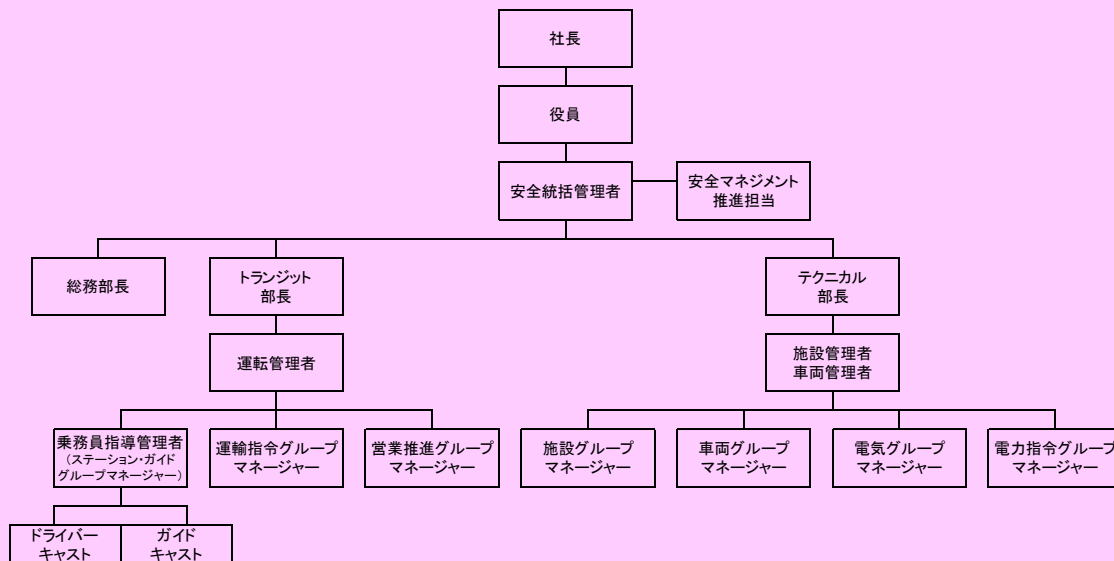
「事故ゼロ」

という目標を掲げ、様々な安全性向上施策に取り組んでいます。その結果、2013年度も鉄道運転事故・重大インシデントの発生はありませんでした。今後もソフト・ハードの両面から安全・安定輸送にまい進します。

3. 「輸送の安全」を推進する社内の体制

3.1 安全管理体制

当社の「安全管理規程」では、輸送の安全確保のために社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



管理者	責務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者およびトランジット部長の指揮の下、列車の運行、乗務員の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

3.2 安全管理の方法

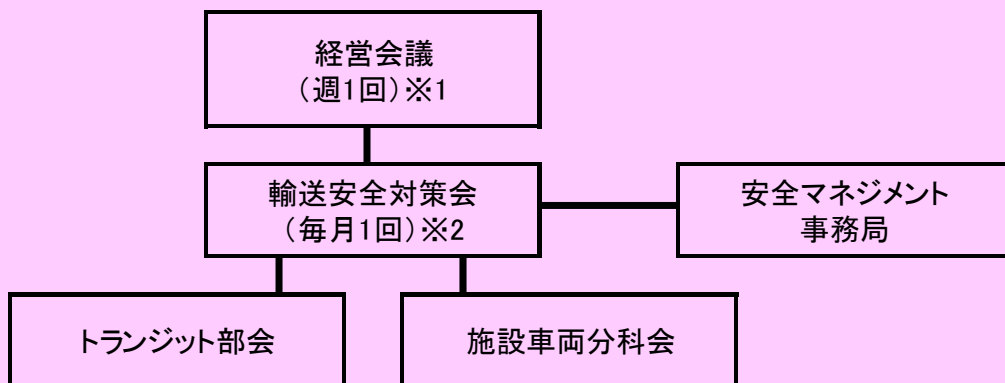
輸送の安全を確保するため、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査も実施することにより、PDCAサイクル（輸送の安全に関する方針などの策定、実行、チェック、改善のサイクル）を確実に機能させ、社長以下全キャストが一丸となった安全管理体制の確立に努めています。

輸送の安全に関する会議

年間計画に基づき、毎月1回開催される「輸送安全対策会」では、自社や他社で発生した事故・トラブル等の報告、再発防止策の検討、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また、定期的実施する異常時総合訓練の実施案作成、実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、定期的に社長をはじめとする役員へ報告されます。

【輸送の安全に関する会議】



※1 全常勤役員出席

※2 緊急性のある場合は都度開催

3.3 安全管理体制の見直し（内部監査）

安全管理体制がPDCAサイクルにもとづき、適切に運営されているかをチェックするための内部監査（運輸安全マネジメントに係る内部監査）を年1回実施しています。

2013年度は、キャストおよび管理者に対してヒアリング調査を実施し、安全管理体制の評価や検証を行いました。今後もこの監査結果をもとにして継続的な業務の見直しを行うとともに、安全管理体制の維持向上を図っていきます。

4. 「輸送の安全」への取組み

4.1 安全重点施策

安全目標である「事故ゼロ」を達成するために、次のような取組みを実施しています。

① ヒヤリ・ハット情報の活用

各部でのヒヤリハットなどの事例研究や作業手順の見直しをキャストの教育に活かし、事故防止や対応能力の向上に努めています。あわせて、他社で起きた事事例等についても、当社での発生のリスクを検証し、その結果を安全運行につなげています。

② 経営トップによる職場巡視

社長をはじめとする役員や各管理者が、日常的に各職場を巡視し、キャストと直接意見交換することで、気がかり事象の把握や安全管理状況の確認を行っています。

③ 緊急時対応体制

事故や自然災害が発生した場合を想定した各種の異常時訓練を実施し、その実施結果を踏まえたマニュアルや関連規程など、定期的な見直しを行っています。

④ マネジメントレビュー

一年間の活動結果を経営層に報告し、輸送の安全管理体制が適切に整備・運営され、有効に機能していることを確認します。

4.2 異常時対応訓練

当社は開業以来ドライバーレス運転を行っておりますが、万一の場合に備えて、事故・トラブルや自然災害などさまざまな状況を想定した異常時訓練を定期的
に実施しています。

【2013年度訓練内容】

- 2013年6月にステーションキャストを対象にAEDの取扱に関する訓練を実施しました。
- 2013年6月、2014年1月～2月にステーションキャストを対象に防火・防災訓練を各駅で実施しました。
- 防火・防災訓練終了後に練習用消火器を使用し、初期消火訓練を実施しました。
- 2013年9月10日（火）浦安市消防本部と合同で、列車が駅間に停止した後の対応訓練を車庫線で実施しました。
- 2013年10月にガイドキャストおよび運輸指令キャストを対象に地震発生後の対応訓練を本線で実施しました。
- 2013年12月にトランジット部、テクニカル部合同で安全装置が作動した際の対応訓練を実施しました。
- 2014年2月10日（月）営業運転終了後、閉そく方式の変更および列車の併結訓練を本線で実施しました。



©Disney

この他、運行トラブル時におけるスムーズな運転正常化を図るための運輸指令キャストによる連動盤の手動操作訓練、テクニカルキャストの高所作業車・はしご車の設営および操作訓練など、年間計画にもとづいた定期的な訓練を行っています。

今後も実施評価を踏まえ計画的に実施していきます。

4.3 安全のための投資

2013年度は、東京ディズニーシー・ステーション 降車ホーム側 バルコニーでの躓きによるヒヤリ・ハット抑制のためにスロープを設置しました。

また、当社ではゲストの皆さまに安全にご利用頂けるように車両と駅が一体となったATCやホームドア（可動式安全柵）などの保安設備を備えています。



©Disney

4.4 安全運行を支えるシステム

当社ではATOによるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高いATCを導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、当社のドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にガイドキャストが乗務しています。ガイドキャストは、ゲストの皆さまのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらには異常時におけるゲストの避難誘導等に柔軟に対応出来るように訓練されています。

このほか、列車の運行を総合的に管理するTTCの設置や、機器の状態が把握できる車両モニター装置の搭載等により安全確保に努めています。

① ATC（自動列車制御装置—Automatic Train Control）

前を走る列車との間隔やカーブなどの線路状態にもとづいた情報を、速度信号として地上側の装置から列車に設けた装置に送り、実際の速度と制限速度とを比較したうえで、超えている場合には自動的にブレーキを作動させ、制限速度以下まで減速させるか停止させるシステムです。

② ATO（自動列車運転装置—Automatic Train Operation）

ATCのバックアップのもと、列車の出発、走行、減速、定位置停止の列車操縦制御や、ホームドアとの連動制御などを自動的に行うシステムです。

5. 鉄道運転事故の発生状況

2013年度の事故の発生状況は以下のとおりとなります。

①鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。
引き続き、安全運行に努めていきます。

※鉄道運転事故とは、国土交通省の鉄道事故等報告規則（省令）にもとづく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。

②輸送障害

2013年度は輸送障害が2件発生しました。

- i. 2013年8月24日（土）車両ドアの不具合対応のため（35分）
- ii. 2014年2月15日（土）大雪により回送列車が走行困難となったため（3時間41分）

ご利用の皆さまにはご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

※輸送障害とは、省令にもとづく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

③インシデント（事故の兆候）

インシデントはありませんでした。

※インシデントとは、省令にもとづく、事故には至ってないが運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

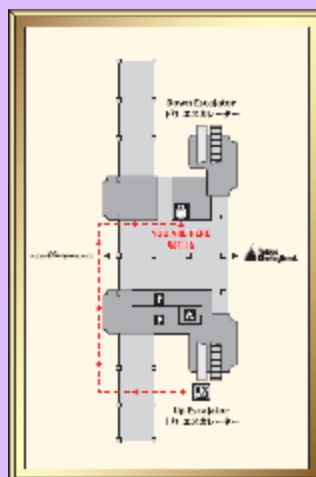
今後も、ゲストの皆さまに安心してご利用いただけるよう、全キャストが一丸となって安全運行に努めていきます。

6. ゲストの皆さまへ

6.1 皆さまの声をかたちに

ゲストの皆さまに安心してご利用いただくために、皆さまからお寄せいただいたご意見をさまざまな対策に反映させています。

- ① 駅のエレベーター乗り場には、車いすをご利用のゲストをはじめ、エレベーターを必要とされるゲストの方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。



- ② 車いすやベビーカーをご利用の方にもよりスムーズにモノレール車内へご乗車いただけるよう、固定式スロープを全乗車口に設置しています。
なお、高齢のゲストや体の不自由なゲストのご案内に必要な知識、技能を習得するため、サービス介助士2級の資格取得を積極的に進めています。



©Disney

- ③ 全4駅にAED（自動体外式除細動器）を導入しています。
また、これにあわせて、AEDを取り扱うキャストが迅速に救命救急活動を行えるよう、浦安市消防本部のご協力のもと普通救命講習を受講しています。



©Disney

6.2 ディズニーリゾートラインから皆さまにお願い

- ① ディズニーリゾートラインは3分～13分間隔で運転を行っております。発車ベルが鳴ってからのかけ込み乗車は思わぬケガのもととなります。次の列車をお待ちください。
- ② ホームドアに寄りかかったり、顔や手をホームドアの外に出さないでください。
- ③ ホームと列車との間には、すき間があります。乗り降りの際は十分ご注意ください。特に小さなお子様をお連れの方は、手をつないで乗降をお願いします。
- ④ 緊急時、ただちに列車を止めなければならないときは、各駅のホームドア中央付近に設置してある「非常用ボタン」を押してください。
- ⑤ 運転中やむを得ず急ブレーキがかかる場合があります。皆さまの安全のため、ご乗車の際は座席にお座りになるか、お立ちの場合はお近くのつり革や手すりにおつかまりください。



©Disney

- ⑥ ドアに手をついていると、ドアが開いた際に戸袋に手が引き込まれてしまうおそれがあります。ドア付近にお立ちの際はご注意ください。特に小さなお子様をお連れの方は十分ご注意ください。
- ⑦ 各車両には、非常時の際にガイドキャストと通話のできる「非常通報装置」が設置されています。万一車内において急病人の発生や、不安全な行為等を認められたときは、何なりとお知らせください。



- ⑧ ディズニーリゾートラインへの危険物等の持ち込みは固くお断り致します。
- ⑨ 盲導犬、聴導犬、介助犬以外のペットをお連れの方は必ずペットケージをご用意ください。

6.3 お問い合わせ

セーフティーレポートへのご意見やご感想、安全の取組みに関するご意見をお寄せ下さい。

株式会社舞浜リゾートライン
TEL : 047-305-2409 (平日9:00~17:00)

©Disney